

備前市都市計画マスタープラン【概要版】

令和4（2022）年2月

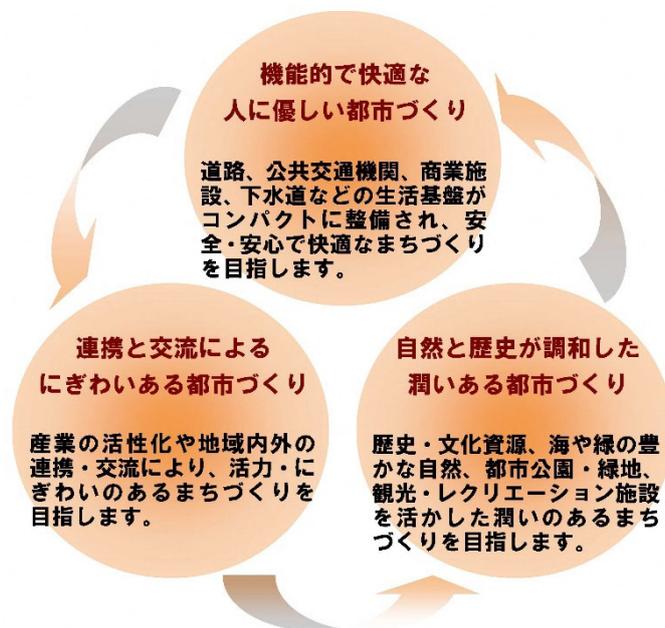
都市計画マスタープランの役割と計画の対象・目標年次

- 本市では、人口減少・少子高齢化が進行する中、まちの持続可能性を確保するため、拠点の形成と交通ネットワークの充実による都市構造を目指して「備前市立地適正化計画」を策定し、都市計画全般の整合を図るため、『備前市都市計画マスタープラン』を再改定しました。
 - 『備前市都市計画マスタープラン』は、都市計画の観点から長期的な視点にたって地域における動向に対応し、「第3次備前市総合計画（第2期備前市まち・ひと・しごと創生総合戦略）」等との整合を図りながら、将来の都市計画に関する基本的な方針を定めるものです。
- 【計画対象】 都市計画区域外のまちづくりとの整合を図りつつ、「備前都市計画区域」とします。
- 【目標年次】 令和4（2022）年を基準年次に、概ね20年後を展望しつつ、第3次備前市総合計画に合わせて、概ね10年後の令和12（2030）年を目標年次とします。

まちづくりの基本理念と地域のまちづくりテーマ

- 基本理念に基づき、各地域の特色を活かしたテーマを定めて、まちづくりを進めます。

【まちづくりの基本理念】



海とみどりと炎のまち

～ひとが元氣、笑顔あふれる～

すべての人が健康で生きがいを持って暮らし、もてなしの心とたくましさや柔軟性をあわせ持つ、新たな魅力を創造・発信するまちを目指します。また、市民一人ひとりを主役とした、健全で自立したまちづくりを市民とともに進めます。

【地域のまちづくりテーマ】

【西鶴山・香登地域】
利便性を活かした活力あるまちづくり

【伊部・片上地域】
歴史・文化を活かした魅力あふれるまちづくり

【伊里地域】
自然や文化と一体となった潤いあるまちづくり

【東鶴山地域】
農と共生するふるさとづくり

【三石地域】
地域資源を活かした安全・安心・快適なまちづくり

【日生地域】
観光資源を活かした賑わいあふれるまちづくり

【寒河地域】
自然を活かしたゆとりあるまちづくり

* 吉永エリアは、都市計画区域外です。

都市構造

【**拠点**】 地域の特性を活かした機能の集積を図り、地域の求心力を高めます。

都市拠点	<p>【伊部地区・片上地区周辺（伊部駅、西片上駅、備前片上駅）】</p> <ul style="list-style-type: none"> 伊部・浦伊部の基盤整備により、伊部地区・片上地区の連携を強化し、市の中心拠点はもとより、県南東部地域の拠点として、商業・産業・行政・医療福祉など都市機能の集積・充実や都市交流の活性化を図ります。
地域拠点	<p>【備前エリア：ＪＲ赤穂線伊部駅、西片上駅周辺（伊部駅、西片上駅）】</p> <p>【日生エリア：日生総合支所及びＪＲ赤穂線日生駅周辺（日生駅）】</p> <p>【吉永エリア：吉永総合支所及びＪＲ山陽本線吉永駅周辺（吉永駅）】</p> <ul style="list-style-type: none"> 既存の公共公益施設を有効活用しながら、各エリアの中心拠点として必要な都市機能の集積・充実や都市交流を図ります。
生活拠点	<p>【三石総合支所及びＪＲ山陽本線三石駅周辺（三石駅）】</p> <p>【ＪＲ赤穂線寒河駅周辺（寒河駅）】 【香登地区周辺（香登駅）】</p> <p>【ＪＲ赤穂線備前片上駅周辺（備前片上駅）】 【伊里地区周辺（伊里駅）】</p> <ul style="list-style-type: none"> 駅周辺との連携を強化しながら、日常生活に必要な都市機能を維持します。
産業拠点	<p>【片上湾周囲の工業地域】</p> <ul style="list-style-type: none"> 産業機能の集積地として既存の生産機能の高度化・高付加価値化を図ります。 <p>【香登地区・西鶴山地区周辺】</p> <ul style="list-style-type: none"> 既存の産業機能を維持しつつ、都市基盤の整備や企業誘致などによる新たな物流・新産業エリアの創出を検討し、地域活性化を図ります。
観光・レクリエーション拠点	<p>【備前市総合運動公園、備前市浜山運動公園及び備前市日生運動公園】</p> <p>【ひなせうみらぼ、たぬき山展望台及び外輪海水浴場周辺、まほろば周辺】</p> <p>【伊部周辺、旧閑谷学校周辺、五味の市及び楯越山周辺、八塔寺周辺】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の資源等を活かした観光・レクリエーション機能の充実を図ります。

【**連携軸**】 道路を中心に鉄道・バス等の公共交通と組み合わせて都市間及び地域間を結び、人や物、情報などを誘導します。

国土連携軸	<p>【山陽自動車道】</p> <ul style="list-style-type: none"> 国土の均衡ある発展のため、都市、産業、交通を連携する国土連携軸として位置付けます。
広域連携軸	<p>【国道２号】</p> <ul style="list-style-type: none"> 主に近畿地方と中国地方を結び、県内外の交流促進を図る広域連携軸として位置付けます。
公共交通軸 (鉄道・バス)	<p>【ＪＲ山陽本線、ＪＲ赤穂線、県道穂浪吉永停車場線、国道２号（ＪＲ山陽本線とＪＲ赤穂線と繋ぐ主要バス路線）】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市内の拠点間やエリア間、近畿地方と中国地方を結び、公共交通による県内外の交流促進を図る軸と位置付けます。
都市連携軸	<p>【国道２５０号・国道３７４号・一般県道寒河本庄岡山線など】</p> <ul style="list-style-type: none"> 都市拠点とその他の拠点の連携強化とともに、岡山市や周辺市町村との連携強化を図る都市連携軸として位置付けます。
地域連携軸	<p>【都市連携軸以外の県道等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域間の連携強化とともに、広域連携軸や都市連携軸を補完する地域連携軸として位置付けます。

【ゾーン】 計画的な土地利用を図り、拠点や連携軸とともに面的なまちへと展開します。

<p>中山間ゾーン</p>	<p>【吉永エリアを中心とした市北部地域】</p> <ul style="list-style-type: none"> 豊かな自然や歴史・文化、生活が融合したゾーンを目指し、自然環境の保全に努めるとともに、レクリエーション機能など森林の多面的機能を有効に利活用します。また、農林業の振興に努め、豊かな田園環境を適正に保全するとともに、都市拠点との連携を強化し、良好な生活環境を維持していきます。
<p>産業・文化ゾーン</p>	<p>【備前エリアを中心とした市中部地域】</p> <ul style="list-style-type: none"> 歴史・文化、商業、業務、工業など多様な都市機能が集積するゾーンを目指し、計画的な土地利用による都市機能の集積を図るとともに、商業や産業の活性化、地域資源を活用した連携・交流により、活力やにぎわいの創出を図ります。また、適正な土地利用コントロールと社会資本整備により、良好な市街地環境の創出を図ります。
<p>海洋ゾーン</p>	<p>【日生エリアを中心とした市南部地域】</p> <ul style="list-style-type: none"> 瀬戸内海国立公園や多島美に代表される豊かな自然や良好な景観と生活が融合したゾーンを目指し、自然環境や優良農地の適正な保全に努めます。また、都市拠点との連携を強化等し、良好な生活環境を維持しながら、レクリエーション機能の充実や水産業、観光の振興に努めます。

【都市構造図】



土地利用の方針

【方針1】 将来都市像の実現に向けた計画的な土地利用の推進

- 将来都市像の実現に向け、合理的な土地利用の推進や立地適正化計画制度の誘導区域設定などメリハリのある土地利用コントロールによる一体的かつコンパクトな都市を形成するとともに、都市機能の維持・充実と良好な都市環境の創出に努めます。

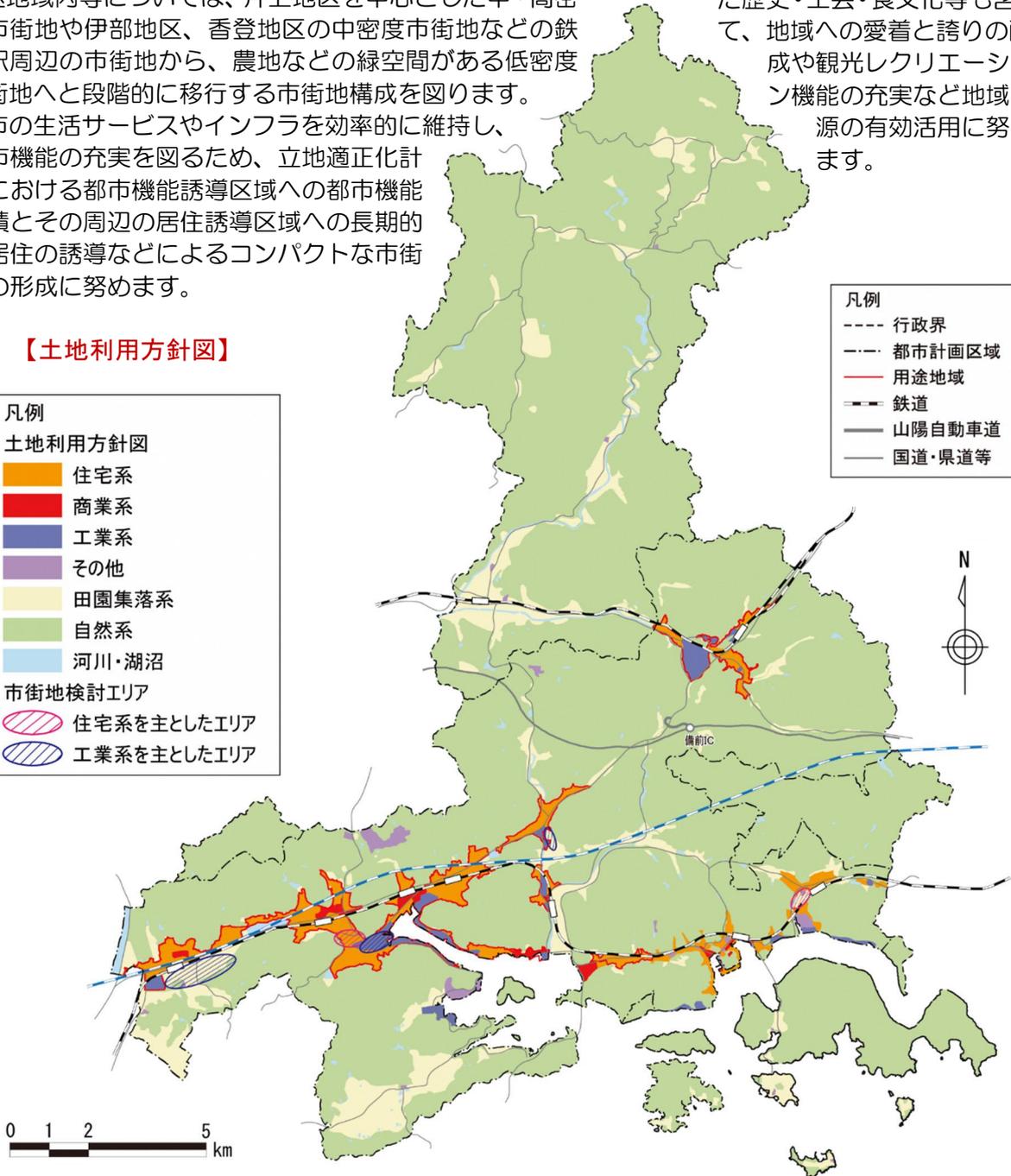
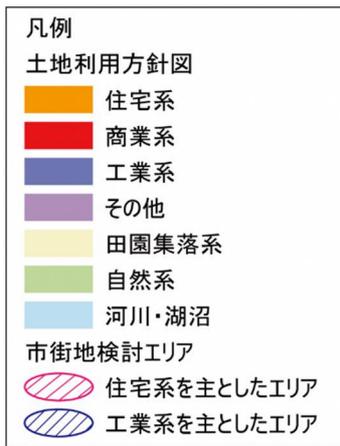
【方針2】 コンパクトな市街地の形成

- 用途地域内等については、片上地区を中心とした中・高密度市街地や伊部地区、香登地区の中密度市街地などの鉄道駅周辺の市街地から、農地などの緑空間がある低密度市街地へと段階的に移行する市街地構成を図ります。
- 都市の生活サービスやインフラを効率的に維持し、都市機能の充実を図るため、立地適正化計画における都市機能誘導区域への都市機能集積とその周辺の居住誘導区域への長期的な居住の誘導などによるコンパクトな市街地の形成に努めます。

【方針3】 自然環境の保全

- 多面的な機能を有する森林や身近な里山、多島美に代表される瀬戸内海やその海岸線など、豊かな自然環境や景観の保全に努めるとともに、これらを背景に保全・発展してきた歴史・工芸・食文化等も含めて、地域への愛着と誇りの醸成や観光レクリエーション機能の充実など地域資源の有効活用にも努めます。

【土地利用方針図】



問合せ先

備前市 産業部 都市住宅課 都市計画係

〒705-8602 岡山県備前市東片上 126 番地 本庁舎 4 階

電話：0869-64-3301【代表】、0869-64-1834【都市計画係】